

日本学士院

第15回 学びのススメシリーズ講演会



2023

12/16(土)

午後2:30~3:30

物語を彩る

「キャラクター」と

「役割語」

会場・オンライン同時開催



会場

日本学士院会館

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32  
(裏面に案内図がございます。)

対象

中学生・高校生 ※一般の方もご参加いただけます。

定員

- 会場: 100名(抽選・11月27日(月)締切)
- オンライン: 500名(先着順)

参加無料  
事前申込制



会場参加



オンライン参加

※詳細は裏面をご覧ください。



講師

きん すい さとし  
金水 敏

日本学士院会員  
放送大学大阪学習センター所長  
大阪大学名誉教授



たいとう文化発信

後援: 台東区、台東区教育委員会  
協力: 上野の山文化ゾーン連絡協議会

# 物語を彩る「キャラクター」と「役割語」

「そうじゃ、ワシが知っておるんじゃ」というセリフを聞けば老博士、「そうですね、わたくしが存じておりますわ」というセリフを聞けばお嬢様、というように、人物像から連想される話し方を「役割語」と呼びます。日本語には多くの種類の役割語が存在し、マンガ、アニメ、絵本、ドラマ等で活用され、物語の理解を助ける働きをしています。役割語はどのようにして生まれ、発達してきたのでしょうか。また、日本語以外の言語には役割語は存在するのでしょうか。本講演では、このような問題について、夏目漱石、芥川龍之介の小説や名探偵コナン、ジブリアニメなど、身近で親しみやすい作品の例を用いながら、役割語の謎について探っていきます。

## 講師プロフィール

きん すい さとし  
**金水 敏**

日本学士院会員、放送大学大阪学習センター所長、大阪大学名誉教授

1956年生まれ。「ある」、「いる」、「おる」といった日本語の存在動詞の意味や用法がどのように変化してきたのかを明解に示すとともに、その研究の中から新たに役割語という概念を導き出し、役割語がどのように成立し、また、小説やマンガやアニメなどのメディアの発達と深い関係を有しているかを明らかにしました。

著書に『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』（2003年、岩波書店）や『コレモ日本語アルカ？—異人のことばが生まれるとき』（2014年、岩波書店）などがあります。

## 申込方法（詳細）

### 1 会場 定員100名【抽選制】 11月27日（月）申込締め切り

本院HP <https://www.japan-acad.go.jp/> からお申し込み下さい。

また、下記のいずれかの方法で、会場希望と明記のうえ、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、メールアドレス・中学生／高校生／一般の別を記載して、お申込みいただくこともできます。抽選結果は12月上旬にお知らせいたします。（抽選は中高生を優先いたします。）

①メール：gkkouen2@mext.go.jp

②FAX：03-3822-2105

③往復ハガキ：〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32 日本学士院事務室

### 2 オンライン 定員500名【先着順】

下記URLよりお申し込みください。

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_85t10T19SGelimZUFIAOvg](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_85t10T19SGelimZUFIAOvg)

にっぽんがく し いん

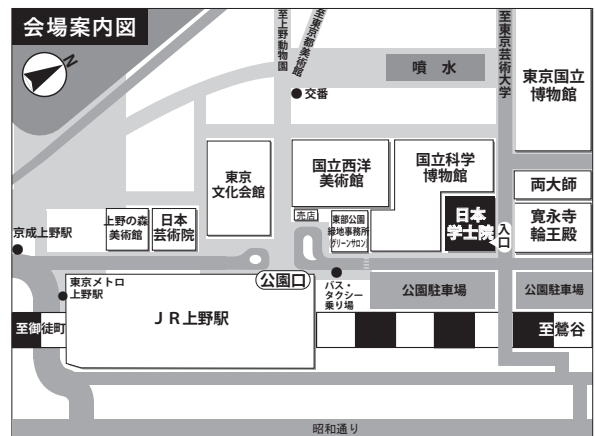
## 日本学士院について

日本学士院は、文部科学省に設置された、学術の発展に寄与するため必要な事業を行うことを目的とした機関です。本院は、明治12年に福沢諭吉を初代会長として創設された「東京学士会院」を前身とし140年以上の歴史を有しており、各分野で高い業績を挙げた研究者が会員として所属しています。

## 問合せ先

### 日本学士院事務室

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32 TEL：03-3822-2101



- JR上野駅公園口から徒歩3分
- 京成上野駅から徒歩8分
- 東京メトロ上野駅から徒歩8分

※車の来場はご遠慮ください。